

第32回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和4年11月17日(木) 午後3時から午後5時まで		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 北棟2階 202会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、伊藤委員、岡澤委員、岡田委員、梶木委員、國原委員、栗本委員、栗原委員、櫻井委員、島委員、田中委員、山下委員 【計13人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 小澤子ども未来部長、野儀子ども未来部理事、上田子ども未来部次長、保田子ども政策課長、田村保育総務課長、松田保育所・幼稚園課長、池田子ども育成課長、松原子育て相談課長、阪口一時保護課長、岡本子ども支援課長補佐 【保健所】 藤岡母子保健課長 【教育委員会事務局】 西村学校教育課長補佐	
開催形態	公開(傍聴人:0名)	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 報告案件 (1) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (2) 奈良市子ども会議・移動あそび場事業について (3) 子どもの権利擁護に関する取組について (4) 「奈良市幼保再編計画」の見直しについて		
決定又は取り纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、主な事業の令和3年度実績及び委員の意見に対する対応状況を取りまとめた資料を提示し、確認いただいた。 ・奈良市子ども会議・移動あそび場事業について、奈良市子ども会議の報告書、意見書及び移動あそび場事業の取組状況をまとめた資料を提示し確認いただいた。 ・子どもの権利擁護に関する取組について、資料を提示し確認いただいた。 ・「奈良市幼保再編計画」の見直しについて、資料を提示し確認いただいた。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 報告事項 (1) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について報告 ・事務局より、「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況」について、説明を行った。			

- ・委員より、子どもの学習支援事業について、実際に支援が必要な子どもたちが支援事業に参加しているのか疑問がある。学校だけでなく、地域の民生委員などと連携し、支援が行き届くような体制づくりをしていく必要がある。
- ・委員より、子どもの学習支援事業について、大学生ボランティアに対して報酬を支払うことは可能なのか、という質問があった。
- ・事務局より、団体に委託して事業を行っており、大学生ボランティアに対して交通費などは、謝礼というかたちでお支払いしていると思うが、団体に対しての委託料についても検討する必要があると考えていると回答した。
- ・委員より、診療所では報酬を多めに支払って、大学生を採用しているところもある。市だけでなく、そういった民間企業に声をかけていくのもよいと思う。

(2) 奈良市子ども会議・移動あそび場事業についての報告

- ・事務局より、「奈良市子ども会議・移動あそび場事業」について、説明を行った。
- ・委員より、奈良市子ども会議について、特別支援学校の生徒も含め、いろんな子どもが参加できたらよいと思う。
- ・委員より、子どもの意見を拾って、あそび場を実現することはすごく素敵だと思った。これから移動あそび場を広げていく場合、子どもが自分の住んでいる地域に愛着を持つことがすごく大事であるため、その地域の子どものどんなあそび場がほしいか問いかけをする必要がある。
- ・委員より、移動あそび場について、大きな遊具を設置するよりも、管理が楽で、子どもたちの満足度が高いことから全国各地でトライするところが増えている。このあそび場は現場のプレイリーダーやプレイワーカーに正しく人件費が支払われない限り、うまくやっっていけないので、予算の使い方を変えていくことが重要だと思う。
- ・委員より、こども家庭庁の子ども会議のあり方の調査対象に奈良市が選ばれたということは、奈良市の取組が先進的であると評価されたということだと思う。
- ・委員より、子どもの意見を聞くにあたって、ファシリテーターやサポーターのような役割が重要である。子ども会議参加者の中でも、小学生の時に参加していた子が中学生になり、グループワークのリーダーをしている。

- ・委員より、他の自治体では、子ども会議に外国にルーツのある子どもや障害を持つ子どもが必ず参加している。子どもたちが相互に学ぶために、参加の多元性が重要になる。

(3) 子どもの権利擁護に関する取組について

- ・事務局より、「子どもの権利擁護に関する取組」について、説明を行った。
- ・委員より、子どもコミッショナーやアドボケイトを置き、子どもの意見表明をしっかり保障していく取組や仕組みを自治体で作っていくことは大事だと思う。
- ・委員より、子どもコミッショナーの仕組みを整えていき、また、学校や保育所の先生が日頃の教育や生活の中で、子どもの意見を取り入れていくことで、仕組みを取り入れる意味を子どもたちに理解してもらい、活用してもらうための土壌づくりも同時に進めていくべきである。
- ・委員より、一般の方や子ども向けに、子どもコミッショナーを導入する意味や利用方法等をわかりやすく説明することを期待している。
- ・委員より、子どもコミッショナーが子どもたちや地域にどれだけ浸透しているのか、KPIを設定しているのか、という質問があった。
- ・事務局より、実際に子ども自身がどう考えているのか、子どもの権利についてどれくらい知っているのかということの把握は今から行う。制度を作る際には、現状把握、子どもたちの声を踏まえて、どういう形でしていくのか検討していきたい。

(4) 「奈良市幼保再編計画」の見直しについて

- ・事務局より、「奈良市幼保再編計画」の見直しについて、説明を行った。
- ・委員より、幼保再編の取組が円滑に進んでいないケースが見受けられる。市立園では、避難用の滑り台が壊れている等老朽化が進んでいるところがあるため、現場目線で、防災の観点も含めて早急に対応する必要がある。
- ・事務局より、市の一存だけで再編は進められないが、園舎の老朽化や待機児童の問題等を抱えているので、民間移管の方法を検討しながら環境改善をはかっていたいと考えている。

- ・委員より、避難経路の確保については、民間移管をする予定の園であっても改善してほしい。再編については、迅速かつ丁寧にやることが子どもたちや保護者にとって非常に良い状況になる。
- ・委員より、今後のことを考えると早くやればいいというものではないと思う。奈良市は地元の方々との連携や保護者との話し合いを重ね、保育に従事する方の意見も踏まえて、非常に丁寧に時間をかけて、再編に取り組んでいると思う。
- ・委員より、避難経路をしっかりと確保する取組を行うことで、利用者が地域の中で安心できる環境になると思う。
- ・委員より、市立園を民営化するときに、奈良市が意図する保育観や教育観を私立園に浸透していくよう、ソフト面についても頑張してほしいと思う。

<p>資 料</p>	<p>【資料1】奈良市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>【資料2-1】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（子どもにやさしいまちづくりプラン）令和3年度進捗状況一覧</p> <p>【資料2-2】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（子どもにやさしいまちづくりプラン）令和3年度進捗状況に対するご意見について</p> <p>【資料3-1】令和4年度奈良市子ども会議報告書</p> <p>【資料3-2】移動あそび場について</p> <p>【資料3-3】移動あそび場チラシ</p> <p>【資料4】子どもの権利擁護に関する取組</p> <p>【資料5】第2次奈良市幼保再編計画（仮）の策定について</p> <p>【別添】令和4年度奈良市子ども会議意見書</p>
------------	---